

プロジェクトプロセス



このプロジェクトでは、まず、テーマを決定するために、医療知識を向上する事から始めました。具体的には、地域医療についての調査、市内の医療関係者へのインタビュー、医療雑誌の編集長さんとのディスカッション、市民へのアンケート調査などを行いました。

そして、それらの調査結果をもとにしてテーマを決定し、新しい地域医療体制の実現を目標にシステムを制作しました。

プロジェクトプロセス

知識向上

医療の現状	地域医療や病診連携
医療情報技術	電子カルテなど

テーマ抽出

コミュニケーション	医師と患者との意思疎通
病院情報案内	位置・診療可能時間等の情報提供
手間をなくす	待ち時間や受付の省略

調査

病院視察	五稜郭病院、市立函館病院、西堀病院
講演	医療雑誌編集長、企業デザイナー
アンケート	市民の声を聞く

全体テーマ決定

「地域ぐるみで、患者本位の医療」を共通のテーマにする

システム案作成

医療情報案内	エスクロウ、すんなび
医療環境	ネクスト、カルテポート、ゆびきり
院外治療支援	アド、クロス

システム制作

患者視点に注目して、システムを制作した

Monthly Process

April

- ・プロジェクト始動
- ・医療知識向上

May

- ・「メディカル函館」
- ・「富士ゼロックス」
- ・「富士フィルム」による講演

June

- ・ブレインストーミング
- ・グループを編成

July

- ・病院調査
- ・インタビューの実施
- ・中間発表会

August

- ・技術シーズ
- ・「富士ゼロックス」
- ・「富士フィルム」による講演

September

- ・技術研究

October

- ・全体テーマ決定
- ・グループ再編成

November

- ・プロトタイプ制作
- ・「富士ゼロックス」
- ・「富士フィルム」
- ・「SEC」による講演

December

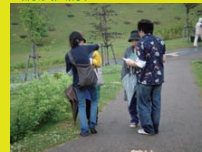
- ・プロトタイプ制作
- ・成果発表会



会議風景



講演風景



調査風景



病院訪問



中間発表



会議風景



技術研究



企業の講演



全体のテーマ